



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 第一カッター興業株式会社
コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広瀬 俊一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小池 保

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	9,251	18.8	1,346	23.2	1,387	22.2	816	19.9
26年6月期第3四半期	7,786	13.4	1,092	103.8	1,134	92.3	680	91.8

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 833百万円 (19.0%) 26年6月期第3四半期 700百万円 (95.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	286.80	—
26年6月期第3四半期	239.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	8,433	6,267	72.0	2,132.53
26年6月期	7,177	5,382	74.0	1,866.97

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 6,065百万円 26年6月期 5,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	10.3	1,204	29.2	1,255	26.5	770	28.8	270.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社ムーバブルトレードネットワー
クス、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期3Q	3,000,000 株	26年6月期	3,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年6月期3Q	154,130 株	26年6月期	154,104 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期3Q	2,845,871 株	26年6月期3Q	2,845,973 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種経済政策及び金融政策による企業収益の改善等を背景に、日経平均株価が2万円目前という水準にまで回復し、全体として景気は緩やかに回復しております。しかしながら、個人消費については、円安や雇用環境の改善等で上向しているものの、消費税増税の影響等により消費マインドの低下がみられ、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。建設業界におきましては、引き続き公共投資を中心として堅調に推移し、民間設備投資についても回復傾向がみられました。また、2020年開催の東京五輪へ向けたインフラ整備や道路・建物等の老朽化による大規模都市再開発への動きにより、今後も公共工事のみならず民間工事についても需要増加が見込まれております。しかしその一方で人件費・建設資材の高騰をはじめとする建設コストの上昇により激しい受注・価格競争が続き、人手不足や天候不順等による予算執行及び工事着工の遅れが業績への影響をもたらす懸念もあるなど、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況下で、当社グループ全体の売上高は9,251百万円（前年同期比18.8%増）となり、営業利益は1,346百万円（前年同期比23.2%増）、経常利益は1,387百万円（前年同期比22.2%増）、四半期純利益は816百万円（前年同期比19.9%増）となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、売上高は第1四半期（7月～9月）・第4四半期（4月～6月）に減少し、第2四半期（10月～12月）・第3四半期（1月～3月）に増加いたします。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま

す。セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(切断・穿孔工事業)

切断・穿孔工事業につきましては、トンネル補修関連工事、高速道路補修関連工事、空港・港湾改修関連工事、橋脚補修関連工事及び電鉄補修関連工事等の強化・市場拡大に努めました。その結果、切断・穿孔工事業の完成工事高は8,253百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に高層マンション等の新規顧客の開拓、またサービスの強化に努めてまいりました。その結果、完成工事高は171百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

(リユース・リサイクル事業)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結子会社としたことにより、リユース・リサイクル事業の重要性が増したことから、従来よりセグメント開示上、「その他」として記載しておりましたリユース事業につきまして、当期から新たに「リユース・リサイクル事業」とし、報告セグメントとして開示することといたしました。

リユース・リサイクル事業につきましては、新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、売上高は829百万円（前年同期は26百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金及び売掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,256百万円増加し、8,433百万円となりました。

負債につきましては、工事未払金及び買掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ370百万円増加し、2,166百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ885百万円増加し、6,267百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は72.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、公共工事が4月を年度始めとしているため第4四半期の工事量が減少し、工事原価・販売費及び一般管理費の人件費等の固定費により利益率が悪化する傾向にあります。

その為、平成27年2月12日に発表しました第2四半期決算短信の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、新たに株式を取得した株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,516,639	2,934,465
受取手形・完成工事未収入金	1,643,913	2,192,688
売掛金	4,275	105,263
未成工事支出金	132,497	107,801
商品	—	47,281
材料貯蔵品	65,867	81,701
繰延税金資産	47,315	47,315
その他	102,809	58,643
貸倒引当金	△5,137	△7,269
流動資産合計	4,508,181	5,567,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	650,319	675,547
減価償却累計額	△229,568	△254,660
建物及び構築物(純額)	420,750	420,886
機械装置及び運搬具	2,097,114	2,254,881
減価償却累計額	△1,693,474	△1,786,543
機械装置及び運搬具(純額)	403,640	468,338
工具、器具及び備品	85,562	84,871
減価償却累計額	△68,521	△67,199
工具、器具及び備品(純額)	17,041	17,671
土地	1,318,012	1,318,668
リース資産	—	11,386
減価償却累計額	—	△1,918
リース資産(純額)	—	9,467
建設仮勘定	—	9,649
有形固定資産合計	2,159,444	2,244,682
無形固定資産		
のれん	209	78,306
その他	15,522	14,229
無形固定資産合計	15,731	92,536
投資その他の資産		
投資有価証券	160,174	186,666
繰延税金資産	155,208	137,646
その他	200,343	212,696
貸倒引当金	△21,627	△8,411
投資その他の資産合計	494,097	528,596
固定資産合計	2,669,273	2,865,816
資産合計	7,177,455	8,433,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	390,726	452,998
買掛金	1,771	105,420
1年内返済予定の長期借入金	8,328	39,336
リース債務	—	1,687
未払法人税等	297,195	343,775
賞与引当金	34,915	144,160
その他	617,817	481,382
流動負債合計	1,350,753	1,568,760
固定負債		
長期借入金	53,841	125,915
リース債務	—	7,151
役員退職慰労引当金	75,674	155,309
退職給付に係る負債	310,433	304,184
資産除去債務	4,699	4,752
固定負債合計	444,649	597,313
負債合計	1,795,403	2,166,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	465,100	462,044
利益剰余金	4,499,960	5,258,755
自己株式	△122,155	△122,205
株主資本合計	5,313,204	6,068,893
少数株主持分	68,847	198,739
純資産合計	5,382,051	6,267,632
負債純資産合計	7,177,455	8,433,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高		
完成工事高	7,759,959	8,424,363
商品売上高	26,105	826,884
売上高合計	7,786,064	9,251,248
売上原価		
完成工事原価	5,235,853	5,636,660
商品売上原価	20,459	510,501
売上原価合計	5,256,313	6,147,161
売上総利益		
完成工事総利益	2,524,105	2,787,703
商品売上総利益	5,646	316,383
売上総利益合計	2,529,751	3,104,086
販売費及び一般管理費	1,436,789	1,757,158
営業利益	1,092,962	1,346,927
営業外収益		
受取利息	215	419
受取保険金	991	11,786
受取家賃	13,592	14,140
持分法による投資利益	21,037	10,812
雑収入	15,906	20,333
営業外収益合計	51,742	57,491
営業外費用		
支払利息	384	2,068
支払手数料	—	1,407
売上債権売却損	30	146
不動産賃貸原価	8,337	8,563
雑損失	1,133	4,950
営業外費用合計	9,886	17,135
経常利益	1,134,818	1,387,283
特別利益		
固定資産売却益	885	807
特別利益合計	885	807
特別損失		
固定資産売却損	119	216
固定資産除却損	724	1,217
特別損失合計	844	1,433
税金等調整前四半期純利益	1,134,860	1,386,657
法人税等	434,491	552,940
少数株主損益調整前四半期純利益	700,368	833,716
少数株主利益	19,895	17,524
四半期純利益	680,473	816,192

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	700,368	833,716
四半期包括利益	700,368	833,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	680,473	816,192
少数株主に係る四半期包括利益	19,895	17,524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	リユース・ リサイクル事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	7,620,495	139,463	26,105	7,786,064	7,786,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,620,495	139,463	26,105	7,786,064	7,786,064
セグメント利益又は損失(△)	1,536,663	13,905	△11,095	1,539,474	1,539,474

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,539,474
全社費用(注)	△447,733
セグメント間取引消去	1,221
四半期連結損益計算書の営業利益	1,092,962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	リユース・ リサイクル事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,253,098	171,265	826,884	9,251,248	9,251,248
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,908	2,908	2,908
計	8,253,098	171,265	829,793	9,254,157	9,254,157
セグメント利益	1,727,663	8,126	24,410	1,760,200	1,760,200

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結子会社としたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「リユース・リサイクル事業」において656,742千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,760,200
全社費用(注)	△417,825
セグメント間取引消去	4,552
四半期連結損益計算書の営業利益	1,346,927

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結子会社としたことにより、リユース・リサイクル事業の重要性が増したことから、従来よりセグメント開示上、「その他」として記載しておりましたリユース事業につきまして、当期から新たに「リユース・リサイクル事業」とし、報告セグメントとして開示することといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結子会社としたことにより、「リユース・リサイクル事業」において、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては92,125千円であります。